

KENWOOD

ステレオ インテグレートッド アンプ

KAF-3030R

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本機の特徴

アドバンスドDA/CDダイレクト

Adv. DA/CD DIRECT機能

アドバンスドDA/CDダイレクト

音楽ソース直結のAdv. DA/CD DIRECT機能で、最新のCDプレーヤー（HD/CD/SACD対応）やDVDオーディオプレーヤー（96/192 kHz 24ビット）を高品位な音質で楽しむことができます。

ソース ダイレクト

SOURCE DIRECT機能

インプット セレクター

INPUT SELECTORで選ばれた音楽ソースを、高品位な音質で楽しむことができます。

目次

⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

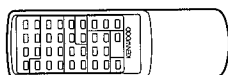
△ 安全上のご注意	3
知っておきましょう	7
接続のしかた	8
システムコントロール接続	9
スピーカーの接続	10
各部のなまえと働き	11
本体	11
リモコン	12
リモコンの使いかた	13
電池の入れかた	13
操作のしかた	13
音楽を聴く	14
普通の再生	14

音の調節のしかた	15
一時的に音を消す	15
左右の音量バランスを調節する	15
音質を調整する	15
デジタルオーディオ音楽ソースを高音質で聴く	16
音楽ソースを高音質で聴く	16
録音のしかた	17
音楽ソースを録音する	17
ヘッドホンで聴く	17
故障と思われる症状ですが	18
△ 定格	19
保証とアフターサービス	20

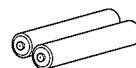
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単3乾電池(2個)



安全上のご注意

 この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

KAF-303DR (J)

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

3

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION

絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

交流100ボルト以外の電圧で使用しない



この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。

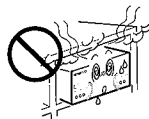
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

●あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。

●風通しの悪い狭い所に押し込まない。

●布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。

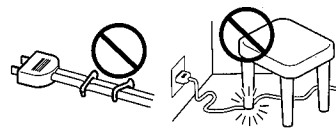
火災・感電の原因となります。



電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



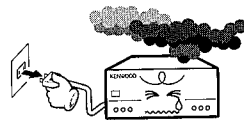
異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がある場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグは清潔に



電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ケースを絶対に開けないでください



機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。



機器の内部に水や異物を入れない



機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



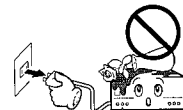
機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



警告

安全上のご注意

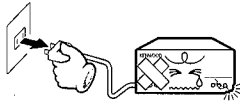
KAF-303DR (J)

5

落下した機器は使わない



機器を落したり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電池は放置しない

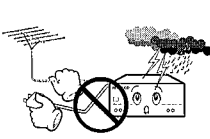


電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

雷が鳴り始めたら



アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。



乾電池は充電しない



乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

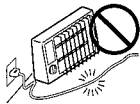


注意

電源コードを熱器具に近付けない



電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



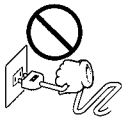
電源プラグの抜き差しは



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



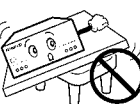
電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



不安定な場所には置かない



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



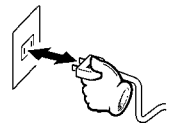
湿気やほこりのある場所に置かない



油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



温度の高い場所には置かない



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

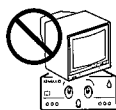


関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起すことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

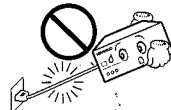


はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+とマイナス"-の向き)に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



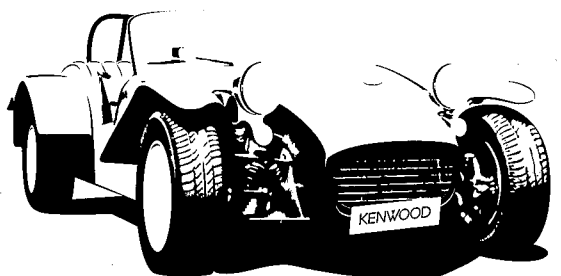
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

メンテナンス

- 前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。
- 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。とくにオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



注意 接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続をするときは下図のように行ってください。

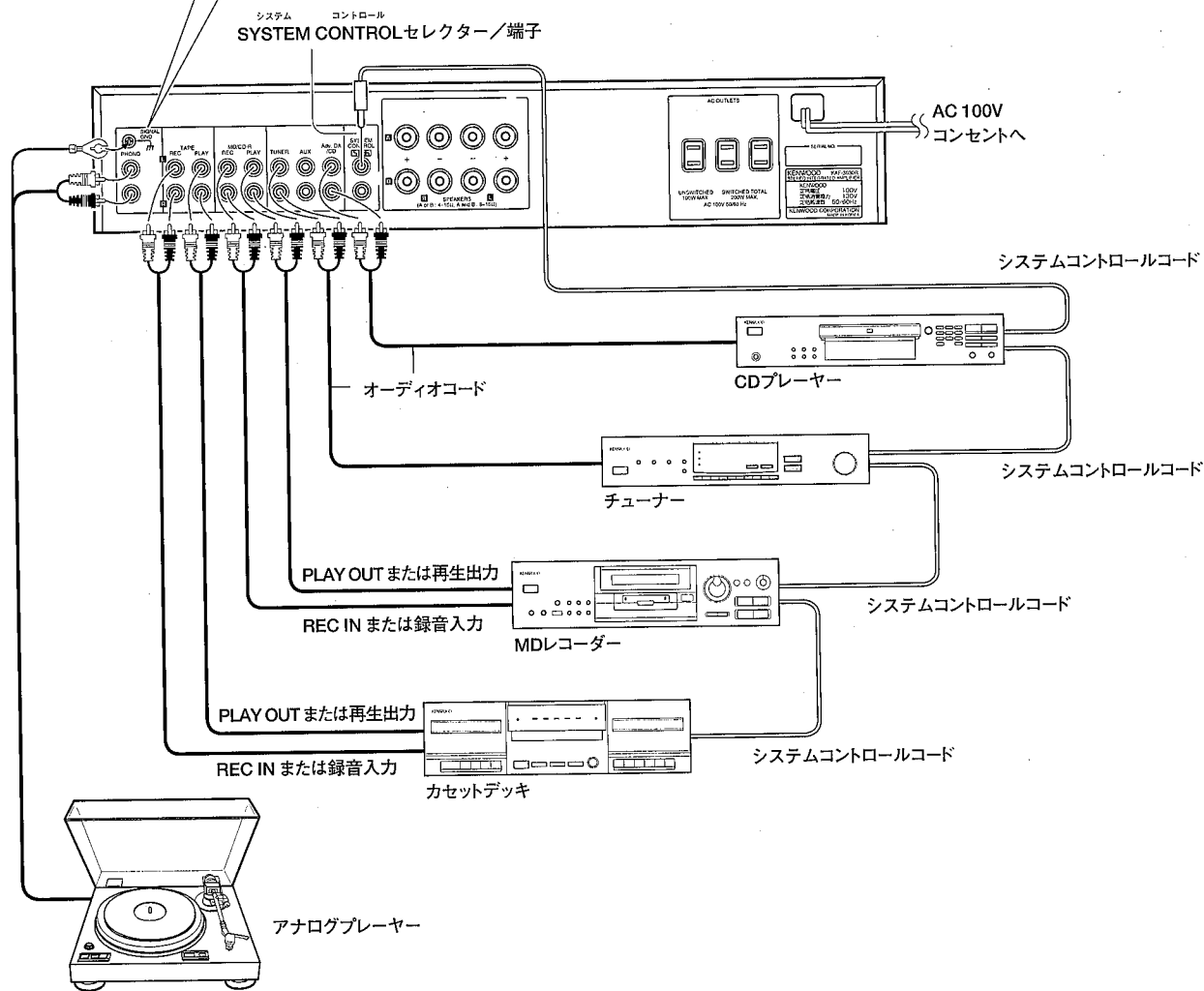
関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意 この端子はアナログプレーヤーなどを接続した場合の雑音の低減を図るためのものです。安全アースではありません。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。

→ 18



外部用電源コンセントについて

連動コンセント (SWITCHED) (最大200Wまで)
 カセットデッキ、レコードプレーヤー、CDプレーヤー等の電源プラグを差し込むことができます。それらの機器のPOWERスイッチをONにしておけば、本機のPOWERキーと連動してON/OFFしますので便利です。

非連動コンセント (UNSWITCHED) (最大100Wまで)
 本機のPOWERキーと連動させる必要のないオーディオ機器の電源プラグを差し込みます。

警告

背面のACコンセントが供給できる電力は連動コンセント (SWITCHED) がトータルで最大200Wまで、非連動コンセント (UNSWITCHED) が最大100Wまでです。接続する装置の消費電力がそれぞれの値を超えないようにしてください。火災の原因になります。電熱器、ヘヤドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

システムコントロール接続

システムコントロール接続

ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。

本機は、SL16モードのシステムコントロールのみに対応しています。XS-8モードのシステムに接続すると、システムコントロールは動作しません。

メモ

Adv. DA / CD入力：

システムコントロールはCDプレーヤーに対応します。

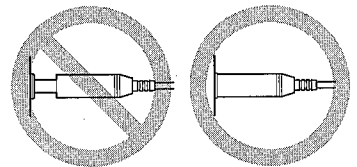
MD / CD-R入出力：

システムコントロールはMDプレーヤーに対応します。

- すべてのコンポーネントの入出力接続を終えてから、システムコントロールを接続してください。（接続する前には、電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認してください）



1. [SL16]と[XR]、[XS]、[XS 8]等とのシステム動作の組み合わせはできません。もし、このような組み合わせであった場合は、システムコントロールコードは接続しないでください。システムコントロールコードを接続しなくても、通常の性能、操作性が損なわれることはありません。
2. アンプ、レシーバーにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にもなにも接続しないでください。
4. 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
5. システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。



システムコントロール動作について

リモートコントロール

本機付属のリモコンで、システム機器のリモートコントロール操作ができます。

オートマッチングオーバーレション（[XR] および [XS-8] 表記の機器を除く）

ソース側機器の再生を始めると、本機の入力切り換えが自動的にその機器に切り換わります。


シンクロ録音（[XR] および [XS-8] 表記の機器を除く）

CD、MDプレーヤーの再生と連動して、それらのソースを録音することができます。

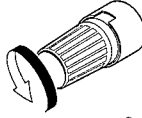
スピーカーの接続

スピーカーコードの芯線が他の端子に触れないようにしてください。

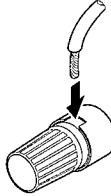
① コードの処理



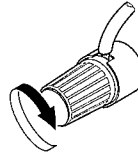
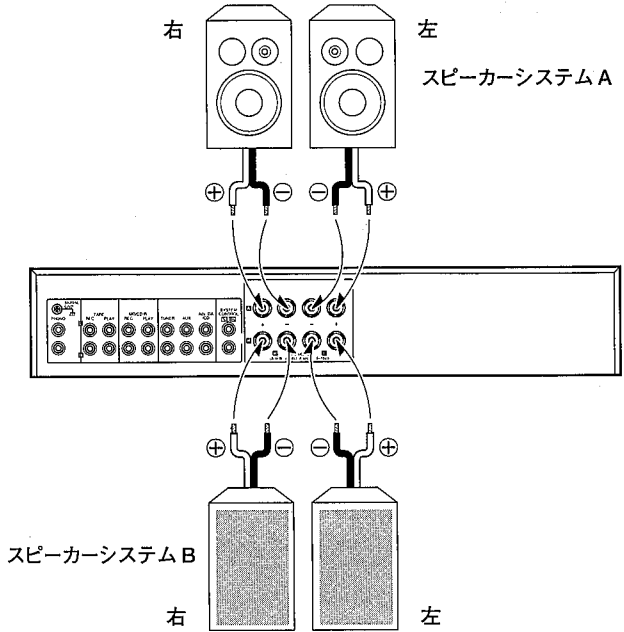
② ゆるめる



③ 差し込む

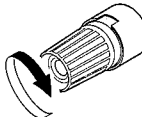


④ 締める

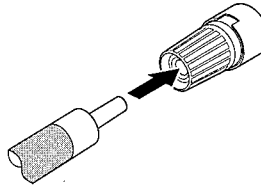
バナナプラグ付きコードを接続するとき

① 端子を締める



● 端子を最後まで締めてください。締まっていないと、音が出なくなることがあります。

② プラグを差し込む



- スピーカーコードの+と-は絶対にショートさせないでください。
- 左右を逆にしたり、極性をまちがえて接続しますと、楽器などの位置がはっきりせず、不自然な音になります。正しく接続してください。

スピーカーのインピーダンスについて

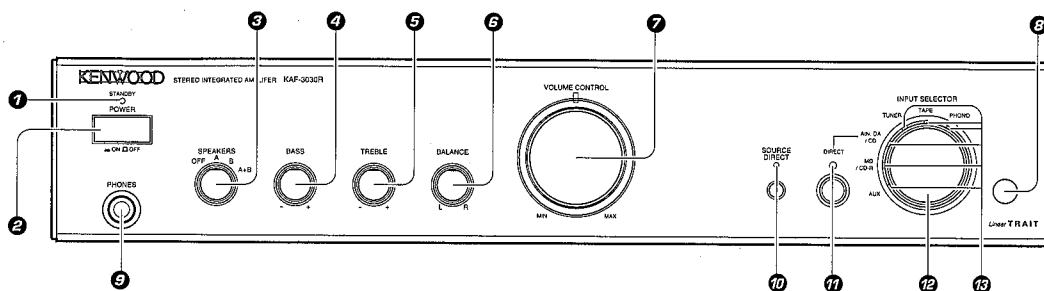
スピーカーズ
SPEAKERS AまたはB端子のいずれか一方のみに接続する場合は、4~16 Ω のインピーダンスのスピーカーをご使用ください。

SPEAKERS A, B両端子にスピーカーシステムを接続してA+Bで使用する場合は、8~16 Ω のインピーダンスのスピーカーをご使用ください。もし、一本でも8 Ω 未満のものを接続しますと、アンプの故障の原因となることがあります。



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。

本体




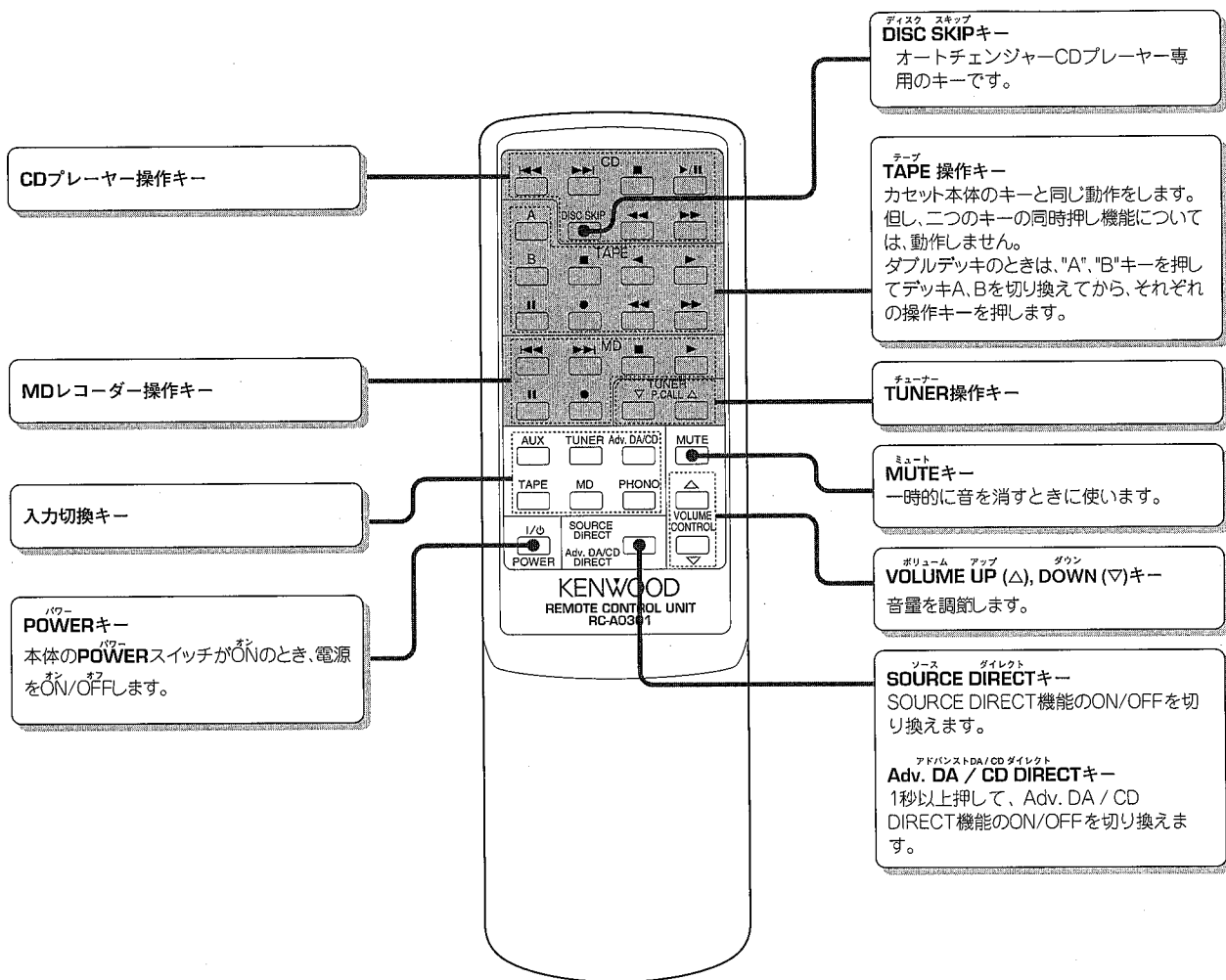
- | | | | |
|---|-----|--|-----|
| ① スタンバイ・インジケータ | - ⑭ | ⑧ リモコン受光部 | - ⑬ |
| ② ^{パワー} POWERスイッチ | - ⑭ | ⑨ ^{ホンズ} PHONES端子 | - ⑰ |
| 主電源をON/OFFします。 | | ヘッドホンで聴くときに使います。 | |
| ③ ^{スピーカーズ} SPEAKERS A/Bスイッチ | - ⑭ | ⑩ ^{ソース ダイレクト} SOURCE DIRECTキー/インジケータ | - ⑮ |
| スピーカーのON/OFFを切り換えます。 | | 入力切り換えで選んだソースを、高音質で聴くことができます。 | |
| ④ ^{バス} BASSつまみ | - ⑮ | ⑪ ^{アドバンスド DA / CD ダイレクト} Adv. DA / CD DIRECTキー/インジケータ | - ⑮ |
| 低音を調節します。 | | デジタルオーディオ音楽ソースを、高音質で聴くことができます。 | |
| ⑤ ^{トレブル} TREBLEつまみ | - ⑮ | ⑫ ^{インプット セレクター} INPUT SELECTORつまみ | - ⑭ |
| 高音を調節します。 | | 入力を切り換えます。 | |
| ⑥ ^{バランス} BALANCEつまみ | - ⑮ | ⑬ ^{オン} インプットインジケータ | - ⑭ |
| 左右の音量バランスを調節します。 | | 入力切換キーで選んだソースのインジケータが点灯します。 | |
| ⑦ ^{ボリューム コントロール} VOLUME CONTROLつまみ | - ⑭ | | |
| 音量を調節します。 | | | |

スタンバイ・インジケータについて

本機にはスタンバイインジケータがついており、このスタンバイインジケータが点灯しているときは、メモリー保護のため、微弱な通電を行なっているものです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイインジケータが点灯しているとき、リモコン操作によってON/OFFができます。

リモコン

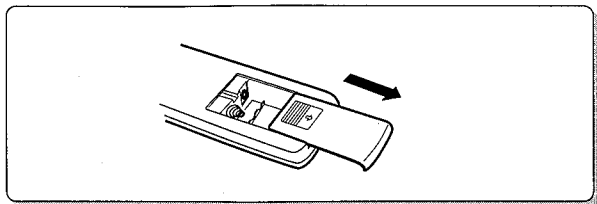
図中の  部分は、システムコントロール接続されたケンウッド製品の操作キーを示し、その他は本体と同じ機能をもった操作キーを示します。



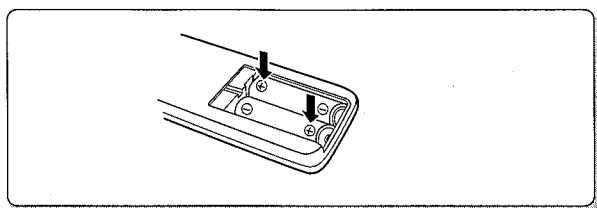
型式: RC-A0301
赤外線方式

電池の入れかた

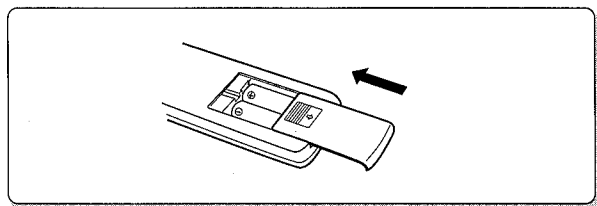
1 カバーを開ける



2 電池を入れる



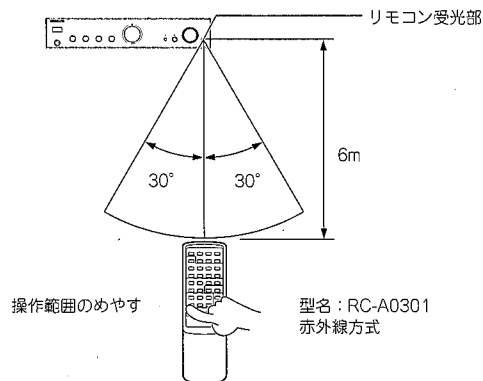
3 カバーを閉める



●単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

スタンバイインジケータが点灯しているときに、リモコンのPOWER^{パワー}キーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

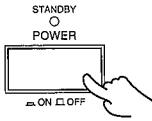


●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

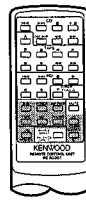


1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

準備



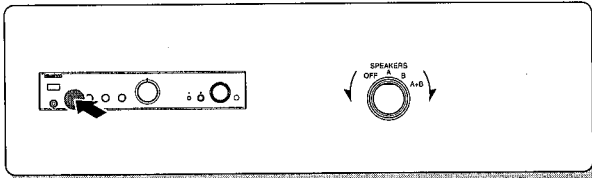
始めに^{オフ}POWERスイッチを^{オン}にして主電源を入れます。通常はPOWERスイッチをONしておくとし、リモコンで電源の^{オン}/^{オフ}をすることができます。



：使用するキー、または、つまみ等を示します。

普通の再生

1 スピーカースイッチを選ぶ



^{オフ}OFF:

スピーカからは音が出ません。ヘッドホンを使うときなどに使用します。

A:

背面の^{スピーカーズ}SPEAKERS A端子に接続されたスピーカから音が出ます。

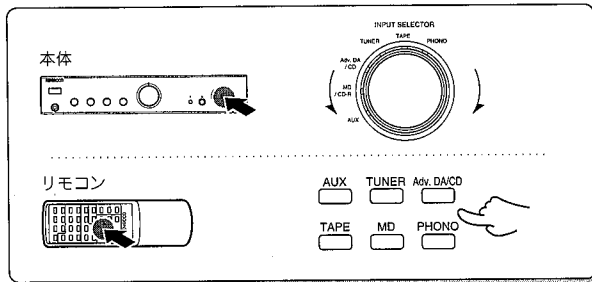
B:

背面のSPEAKERS B端子に接続されたスピーカから音が出ます。

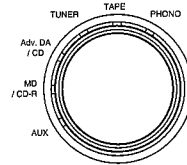
A+B:

背面のSPEAKERS A端子とB端子に接続されたスピーカから同時に音が出ます。

2 聴きたいソースを選ぶ



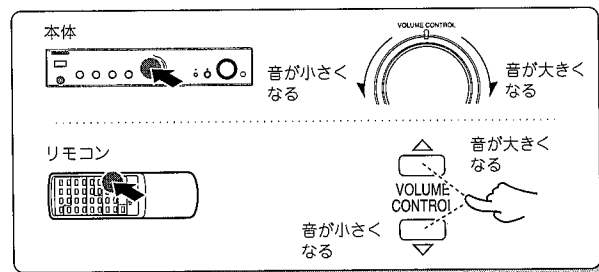
いずれかが点灯

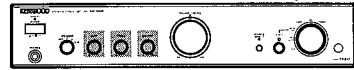
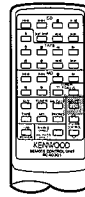



●選ばれたソースのインジケータが点灯します。

3 選んだソースを再生する

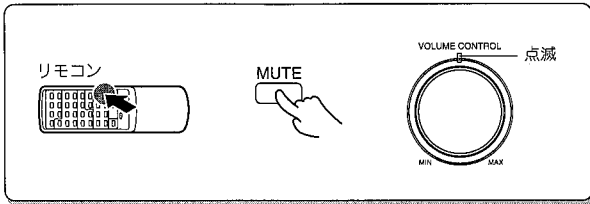
4 音量を調節する





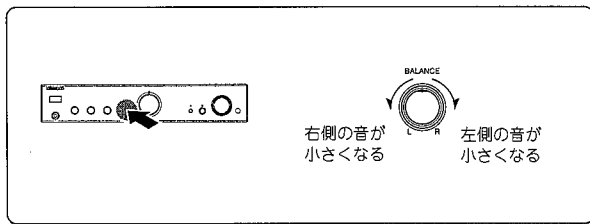
 : 使用するキー、または、つまみ等を示します。

一時的に音を消す



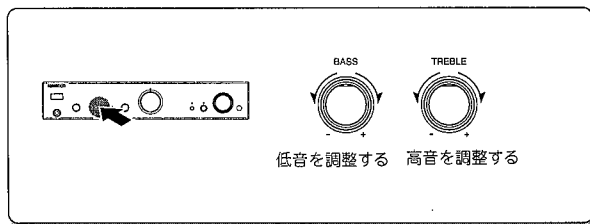
- **MUTE**キーをもう一度押すと、もとの音量に戻り、**VOLUME**インジケーターが点灯します。

左右の音量バランスを調節する

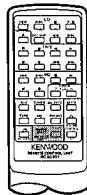


- **SOURCE DIRECT**インジケーターと**Adv. DA / CD DIRECT**インジケーターが点灯していないことを確認してください。 -16

音質を調整する



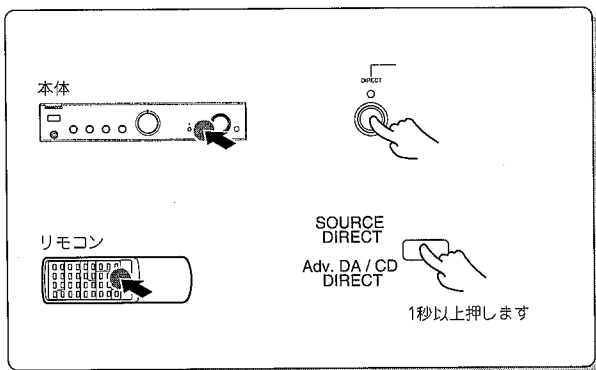
- **SOURCE DIRECT**インジケーターと**Adv. DA / CD DIRECT**インジケーターが点灯していないことを確認してください。 -16



：使用するキー、または、つまみ等を示します。

アドバンストDA/CDダイレクト

デジタルオーディオ音楽ソースを高音質で聴く (Adv. DA / CD DIRECT)



- 入力切り換えで選んだソースに関係なく、Adv. DA / CD入力に切り換わります。

- アドバンストDA/CDダイレクト Adv. DA / CD DIRECTのときは (アドバンストDA/CDダイレクト Adv. DA / CD DIRECTインジケータが点灯)では、音質とバランスは調整できません。

アドバンストDA/CDダイレクト

Adv. DA / CD DIRECTを解除するには

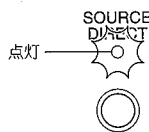
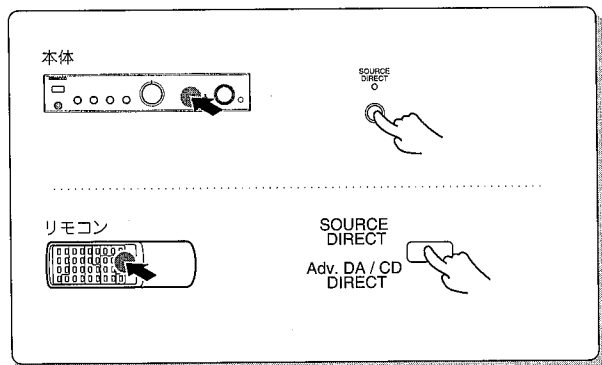
- アドバンストDA/CDダイレクト 本体 Adv. DA / CD DIRECTキーをもう一度押します。
- アドバンストDA/CDダイレクト リモコン Adv. DA / CD DIRECTをもう一度1秒以上押します。

- アドバンストDA/CDダイレクト Adv. DA / CD DIRECTインジケータが消灯します。

ソースダイレクト

音楽ソースを高音質で聴く (SOURCE DIRECT)

音楽ソースを高音質で聴きたいとき、不要な回路を飛び越して再生します。

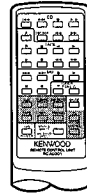


- ソースダイレクト SOURCE DIRECTがONの状態 (ソースダイレクト SOURCE DIRECTインジケータが点灯)では、音質調整、音量バランスは調整できません。

ソースダイレクト

SOURCE DIRECTを解除するには

- ソースダイレクト もう一度SOURCE DIRECTキーを押します。
- ソースダイレクト SOURCE DIRECTインジケータが消灯します。



：使用するキー、または、つまみ等を示します。

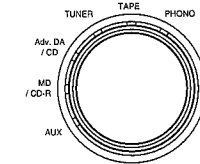
音楽ソースを録音する

① 録音するソースを選ぶ



- ② カセットデッキ、またはMDレコーダーを録音待機状態にする
- ③ ソース(入力の音源)を再生し、録音を開始する

いずれかが点灯



- 選ばれたソースのインジケーターが点灯します。

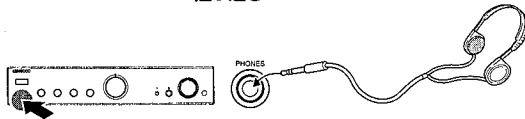
- テープ TAPEを選んだときは、MDレコーダーに録音することができます。
- MDを選んだときは、カセットデッキに録音することができます。

ヘッドホンで聴く

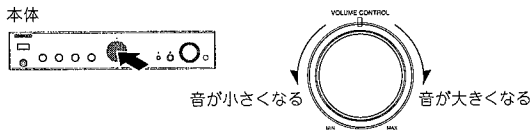
① スピーカーズ SPEAKERSスイッチをオフにする



② ヘッドホンのプラグをフォーンズ PHONES端子に差し込む



③ 音量を調節する



音が大きくなる



音が小さくなる

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がONのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

^{パワー}POWERスイッチを押して電源を^{オフ}OFFにしたあと、^{ソース}SOURCE ^{ダイレクト}DIRECTキーを押しながら^{パワー}POWERスイッチをONにする。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

リモコン部

症 状	原 因	処 置
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の^{パワー}POWERスイッチが^{オフ}OFFになっている。 ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●システムコントロールコードが正しく接続されていない。 ●再生しようとする機器に、テープ、CDまたはMDが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の^{パワー}POWERスイッチを^{オン}ONにする。→14 ●新しい電池に入れ換える。→13 ●操作範囲内で操作する。→13 ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。→8→9 ●再生しようとする機器に、テープ、CDまたはMDを入れる。

アンプ部・スピーカー部

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●音量を最小にしている。 ●^{ミュート}MUTINGが^{オン}ONになっている。 ●^{スピーカー}SPEAKERSスイッチが^{オフ}OFFになっている。 ●システムコントロールコードの接続がはずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。→14 ●^{ミュート}MUTEを^{オフ}OFFにする。→15 ●^{スピーカー}SPEAKERSスイッチを選ぶ。→14 ●システムコントロールコードの接続を確認する。→8→9
すべてのインジケーターが点滅し、音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがショートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時電源スイッチを切り、ショートを取り除き、再度電源スイッチを入れる。
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカーコードがはずれている。 ●^{バランス}BALANCEつまみが片側いっぱい絞られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"をみて正しく接続し直す。→10 ●左右のバランスを調節する。→15
セレクトで選んだ音が出力されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●^{アドバンストDA/CDダイレクト}Adv. DA / CD DIRECTが^{オン}ONになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●^{アドバンストDA/CDダイレクト}Adv. DA / CD DIRECTを^{オフ}OFFにする。

スピーカー保護回路について

誤ってスピーカーコードがショートしたまま本機の電源を入れると、スピーカー保護回路が働きます。すべてのインジケーターが点滅して音が出ない場合は、電源を切り、スピーカーコードのショートを取り除いて、再度電源を入れてください。



故障の原因になりますので、接点復活剤は使用しないでください。特に油性の接点復活剤は、樹脂部品を変形させることがありますので、ご注意ください。

出力

定格出力 40 Hz ~ 20 kHz, 0.06% T.H.D.	
4 Ω	75 W + 75 W
8 Ω	50 W + 50 W
定格出力 (EIAJ / 1kHz, 10% T.H.D.)	
4 Ω	90 W + 90 W
8 Ω	60 W + 60 W
ダンピングファクター	42 (50 Hz)
全高調波ひずみ率	0.02% (20 Hz ~ 20 kHz, 25 W, 8 Ω)
	0.002% (1kHz, 25 W, 8 Ω)

周波数特性

Adv. DA / CD DIRECT	5 Hz ~ 100 kHz, +0 dB, -3 dB
Adv. DA / CD, MD/CD-R, TUNER, TAPE, AUX	5 Hz ~ 60 kHz, +0 dB, -3 dB
イコライザ偏差	20 Hz ~ 20 kHz, +1.0 dB, -1.0 dB

最大許容入力電圧

PHONO (MM)	100 mV, 0.5% T.H.D.
------------	---------------------

SN比

PHONO (MM)	72 dB (IHF' 66)
Adv. DA / CD, MD/CD-R, TUNER, TAPE, AUX	100 dB (IHF' 66)
Adv. DA / CD DIRECT	102 dB (IHF' 66)

入力感度/インピーダンス

PHONO (MM)	2.5 mV/33 kΩ
Adv. DA / CD, MD/CD-R, TUNER, TAPE, AUX	200 mV/47 kΩ

トーンコントロール特性

BASS	±6 dB (100 Hz)
TREBLE	±6 dB (10 kHz)

出力レベル/インピーダンス

MD/CD-R REC, TAPE REC	200 mV/2.7 kΩ
-----------------------	---------------

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数	AC100 V, 50 Hz/60 Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	130 W
ACアウトレット	2 (連動最大合計 200 W) 1 (非連動最大 100 W)
最大外形寸法	幅 440 mm 高さ 95 mm 奥行 400 mm
質量 (重量)	7.8 kg (正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(0℃以下の)場所では、十分な性能を発揮できないことがあります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

KAF-3030R (J)

20

保証書 (別途添付)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ずお買い上げ日・販売店名]等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。

(お問い合わせ先は、添付の“ケンウッドサービス網”をご覧ください)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

“故障かな?と思ったら”に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをご知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み (有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9 (ケンウッド青葉台ビル)

(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)